

8 石油設備機器

【関連章第3章8】

事例1 「使用中の石油ストーブにスプレー式潤滑剤を吹きかけたため出火した火災」

出火時分 3月 11時ごろ
用途等 共同住宅 耐火造 5/0 延 2,000 m²
防火管理 該当選任あり 消防計画あり
被害状況 建物ぼや1棟 石油ストーブ1台焼損
概要

この火災は、共同住宅の2階居室から出火したものです。

出火原因は、使用中の石油ストーブの操作扉内部にスプレー式潤滑剤（噴射剤LPG）を吹きかけたため、石油ストーブの炎が噴射剤のLPGに引火して出火したものです。

火元者は使用中の石油ストーブの操作扉内の点火スイッチにスプレー式潤滑油を吹きかけたところ、点火スイッチ付近から炎が上がったので操作扉を閉めました。石油ストーブから煙が噴出してきたため、ベランダに運び出しじょうろの水をかけて消火しています。

通報は、近くにいた通行人がベランダから煙が見えたため、自分の携帯電話で119番通報しています。

教訓等

石油ストーブの維持管理などは大切ですが、スプレー式潤滑剤には可燃性ガスを噴射剤で使っているため、点火したままスプレーを使用するとガスに引火してしまうので非常に危険です。整備や掃除などをする際は、石油ストーブなどの石油設備機器を消してから取扱説明書に記載されている方法で実施するようにしましょう。



写真 8-1 石油ストーブの焼損状況



写真 8-2 操作扉内部の焼損状況